

お知らせ

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響についての[最新情報](#)や、ロータリーの資金が提供される「[不可欠な旅行](#)」の再開についてもご確認ください。

【コロナに負けない：立ち上がる世界各地のクラブ】

1年半前から続いている新型コロナウイルスの世界的脅威に伴い、ロータリーもしばらくの間、活動の休止を余儀なくされました。2020年3月には、『Rotary』誌も5月号の印刷をいったん中止し、2019-20年度RI会長マーク・マローニー氏の新しいメッセージを挿入することになりました。

「3月初旬には、世界各地で新型コロナウイルスのニュースが日に日に大きく取り上げられるようになりました」とマローニー氏。「ロータリーはすべての地区とクラブに対し、追って通知があるまでは対面式の会合を中止し、オンライン形式に変更するよう要請を出しました」。その後、ロータリーの活動を再開させたマローニー氏は、「世界が急激な変化を遂げる中で、ロータリーもまた大きく変わらなければなりません。私たちの順応性と強さなら、この局面を乗り越えることができるはずです」とメッセージに綴りました。

記事の続きは[こちら](#)

【遠隔地にコロナワクチンを届ける】

ガイアナのデメララ・ロータリークラブの会員は、何十年ものあいだ疾病と闘ってきました。そして今、コロナワクチンを届けることで南米諸国のコミュニティを支援しています。遠隔地にある先住民コミュニティは、ワクチンがなければウイルスに無防備となります。

クラブ会員は、ガイアナの熱帯雨林奥深くに分け入る重要な医療遠征を、30年近くにわたり実施してきました。そのため会員は村々の特定のニーズ、地域独自の知恵や風習などを良く把握しており、このクラブは近隣のクラブから「ブッシュクラブ」(茂みのクラブ)と呼ばれています。

記事の続きは[こちら](#)

【未来を変える識字】

国際ロータリーの会長に就任するずっと前から、シェカール・メータ氏は意欲的な目標を定めることで知られていました。難題にも果敢に取り組み、成果を上げるといった評判をもつメータ氏に、カルヤン・バネルジー元RI会長は2014年、インドの識字率100%を目指す取り組みを一任しました。これはインド政府も多くのNGOも果たせていない目標です。

「一つの国全体の識字率を100%にすることは決して容易ではない」と気づいたメータ氏は、この目標を「7歳以上の国民の識字率を95%以上にする」と定義しました(インド政府の推計では、7歳以上のインド国民の現在の識字率は78%)。「それでも私は、ガンジーの『目標を見つけよ、手段は後からついてくる』という言葉に固く信じています」とメータ氏は言います。記事の続きは[こちら](#)

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

2021-22年度

目標(世界)

- ・年次基金：1億2,500万ドル
- ・ポリオプラス基金：1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金：9,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付：4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計)：4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金：一人当たり150ドル
- ・ポリオプラス：一人当たり30ドル
- ・恒久基金：冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付：1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- ・各地区がDDFを使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 225

AKS会員数 50

PHS会員数 1114

【「ロータリー奉仕デー」地球環境保全グローバルプロジェクト】
第 2820 地区ガバナー新井和雄氏の記事がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

2021 年 9 月 12 日、国際ロータリー第 2820 地区(茨城県)の呼びかけに、世界各地のロータリークラブが呼応し、それぞれの国のそれぞれの地区で市民と共に、海岸や河川や湖沼を綺麗にするプロジェクトを行いました。

地球環境の危機

私たちの生活を支える社会経済システムは、近代化が進み人間社会は成熟し安定しているように見えます。しかしながら、発展途上の国では開発を急ぎ、先進国ではさらに便利な生活を求め、拡大し続ける人間活動は、自然界へ過大な負荷を与えています。たとえば産業革命以降、人間社会が排出してきた温室効果ガスが気候変動を誘引し、世界各地で 10 年に 1 度、あるいは 50 年に 1 度といわれる大災害が毎年のように発生するようになりました。さらに、プラスチックごみによる海洋汚染は、生物多様性の損失や食物連鎖による健康被害をもたらしています。このように地球環境は危機的に変動しており、文明社会の持続可能性を脅かしています。

記事の続きは[こちら](#)

【学問と実践を結ぶことを夢みて】

ジャンルカ・ボナンノ氏(京都大学東南アジア研究所・トリノ大学世界情勢研究所准教授、国際平和と開発機構[IPSO]理事長、ロータリー学友)の記事がロータリーボイスに掲載されました。以下はその抜粋です。

私はイタリアと英国の二重国籍を持っていますが、ロータリーとともに歩む旅は、2009 年に京都で始まりました。当時、大学院で国際関係の博士号取得を目指していた私は、ありがたいことにロータリー-米山記念奨学金をいただき、博士課程での研究を続けることができたのです。

その時はただの奨学金だと思っていましたが、思いがけず、職業的、人間的に大きく成長する機会がもたらされることとなりました。

記事の続きは[こちら](#)

【表彰】

- ポリオのない世界を目指す奉仕賞 推薦期間：7 月～10 月 1 日
- ロータリー財団功労表彰状 推薦期間：11 月～12 月
- ロータリー財団特別功労賞 推薦期間：1 月～2 月

詳細、推薦手続きは、[My ROTARY「各種賞・表彰」](#)よりお願いいたします。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)

組織規定

管理委員会の決定

ロータリーのプライバシーの方針

EU 一般データ保護規則 (GDPR) について

<資料>

財務報告

年次報告(オンライン版)

携帯用カード

ロータリー財団参照ガイド

地区ロータリー財団委員会要覧

地区ロータリー財団セミナーの手引

(zip)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

ポリオプラス

【10月24日は世界ポリオデーです！】

ポリオ根絶の大切さについて認識を高める、活動資金を募る、イベントを計画するなど、世界ポリオデーを推進するために、ぜひ活動をご計画ください。地球上のどこかにポリオが存在する限り、その脅威は引き続き世界全体に及びます。ポリオとの闘いに地域社会の参加を促しましょう。

[世界ポリオデーツールキット](#)から、ポリオ根絶を推進するためのリソースと情報をご活用ください。バーチャルイベントや地域社会イベントの実施、募金活動、ソーシャルメディア投稿のシェアなどを通じて、参加への関心を高めることができます。

[ツールキットのダウンロードはこちら](#)
(zip ファイル)



また、ロータリーの[フェイスブックページ](#)と endpolio.org/ja にて、10月24日にオンライン特別プログラムが配信される予定です。

実施予定、または完了したプロジェクトを[ロータリーショーケース](#)でご紹介いただけます。



<関連リンク>

- [End Polio Now ウェブサイト リソースセンター](#)
- [「世界ポリオデー：大きな達成に焦点」](#)
- [「WHOアフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶：認定にいたる道のり」](#)
- [「コロナ禍でもポリオ根絶活動が継続」](#)
- [「世界ポリオデー2020：コロナに負けず今年も」](#)
- [「2020年世界ポリオデー：大きな達成に焦点」](#)



リソース

<資料>

- [年次基金とシェア](#)
- [寄付者の認証](#)
- [税制上の優遇措置](#)
- [オンラインでの寄付](#)
- [認証ポイント使用申請書](#)
- [ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)
- [PHS パンフレット](#)
- [PHS 入会フォーム](#)
- [PHS 認証状テンプレート](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

- [パワーポイント](#)
- [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

ロータリー賞

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金に DDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例：DDF2+WF1+ゲイツ6=9

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

• [DDF オンライン 寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2021年 1月1日～ 9月21日	2020	2019	2018
常在 国	パキスタン	1	84	147	12
	アフガニスタン	1	56	29	21
世界合計		2	140	176	33

【アフリカ地域のポリオフリー認定から1年】

「アフリカ地域における野生型ポリオウイルスの根絶」という公衆衛生上の歴史的な快挙から1年。ロータリーは、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体とともにこの節目を祝いました。

8月25日に開かれたWHOアフリカ地域委員会では、1周年を祝うとともに、世界全体のポリオ根絶に向けた現在の課題や、ポリオのない世界を実現するための新たな戦術について議論を行いました。

アフリカでのこの快挙は、アフリカ全体の子どもの健康と公衆衛生に恩恵をもたらしています。アフリカでのポリオ根絶活動を支えてきたインフラと技術は、新型コロナウイルスへの対応において重要な役割を果たしており、今後の公衆衛生上の緊急時に応用できます。また、ポリオワーカーは、ポリオ以外の疾病の定期予防接種、医薬品の配布、その他の医療サービスを提供しています。記事の続きは[こちら](#)

【韓国の人気グループBTS(防弾少年団)のジミンさんが、ロータリーのポリオ根絶活動を支援】

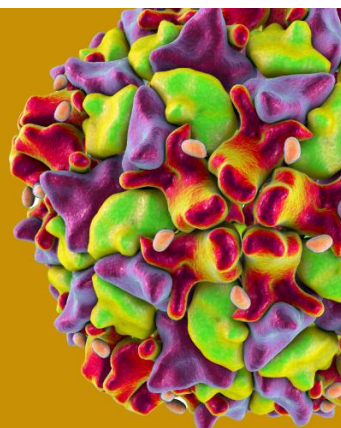
韓国の人気グループBTS(防弾少年団)のジミンさんが、10月24日の世界ポリオデーに向けて、韓国の第3590地区を通じて1億ウォンを寄付されました。ポリオのない世界の実現に力を貸していただき、ありがとうございます。BTSは先日、国連総会でスピーチし、ワクチンの大切さを訴えました。大きなご支援に改めて感謝申し上げます。関連記事は[こちら](#) (国際ロータリーの[フェイスブック](#)より)

「ロータリーや大勢の方々のおかげでポリオが地球上からなくなろうとしています。ポリオで苦しむ子どもが一人もいなくなるように、私もこの歴史的な達成の一翼を担いたと思います」

- ジミン (BTSメンバー)

Rotary  

世界ポリオデー 10月24日



クラブ支援の記録に ご協力ください

クラブにおけるポリオ根絶へのコミットメントを世界に示すため、活動その他の支援の記録にご協力ください。多くのクラブに記録していただくことで、何十年も前にロータリーが行ったポリオ根絶の誓いを新たに示すことができます。

次の①または②の方法で入力ページを開き、所要事項をご入力ください。

- ① www.endpolio.org/ja * を開き、画面右上の3本線をクリックして開くメニューで「地元でのイベントをご紹介ください」をお選びください。
- ② スマートフォンで下のQRコードを読み取ってお開きください。

* 入力時にエラーが生じる場合は英語のページでお試ください

www.endpolio.org/register-your-event

子どもたちをポリオから守るために
ご協力をお願いいたします



End Polio Now ウェブサイトはこちら <https://www.endpolio.org/ja>

補助金

【補助金管理セミナーと再資格認定】

クラブと地区は、ラーニングセンターから、再度、補助金のための資格認定を受けることができます。補助金を利用するためには、前年度中にラーニングセンターの補助金管理セミナーの9つのコースを完了している場合も、[2021-22年度に追加された再認定コース\(2021-22年度\)](#)を受講して、補助金への参加資格を維持する必要があります。

追加されたコースには、2021年5月に更新された「[グローバル補助金ガイド](#)」のダウンロード、3つのインタラクティブ(参加形式)コース「補助金管理の概要」、「補助金パートナーの役割と責務」、「青少年プログラムの参加者を守るために」、知識チェック、と評価表を含む6つのレッスンが含まれています。

【旅行、交通費を含むプロジェクトについて】

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響から、補助金を利用した国内外の旅行は12月31日まで認められておりません。そのため補助金承認後も12月31日まで旅行や交通費を含むプロジェクトは実施することはできず(奨学金プロジェクトは可能)、12月31日以降は状況次第となりますことご留意ください。(旅費、交通費に補助金を利用しない場合は、実施可能です。各国や自治体の案内もご確認ください。)

My ROTARY「[ロータリーの費用による旅行](#)」もご参照ください。

また、国により、日本からの入国制限や入国後の行動制限などの措置が取られる場合もありますので、[外務省のホームページ「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限」](#)や受け入れ地区やクラブ、留学先の大学、協力団体などからの情報もよくご確認ください。

【寄付記録、寄附明細、認証品について】

国際ロータリーで行っている世界的な財務管理システムの移行にあたり、7月以降にいただいたご寄付について、My ROTARY からご覧いただける各種レポートでの寄付記録の反映や、こちらから発送している寄附明細のお届けが遅れております*。

大変遅くなりましたが、7月と8月にご送金いただきました寄付金の「寄附明細」の発送が完了いたしました。7月と8月にご送金いただきました法人寄付への領収証は、9月末までに発送いたします。送付が遅くなりまして、大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大と業務への影響により、ポール・ハリス・フェローやベネファクター等の認証品の発送にも大幅な遅れが生じております。

皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございません。ご理解を賜りたく、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

*それに伴い、巻末の「地区別寄付報告」の掲載は停止しております。

＜補助金＞

[ロータリーの補助金](#)
[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)
[補助金による旅行](#)
[トラベルバンリスト](#)
[グローバル補助金ガイド](#)
[地域社会調査の結果フォーム](#)
[地域調査の方法](#)
[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

＜重点分野＞

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

＜プロジェクトのヒント＞

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)
[ロータリーショーケース](#)
[プロジェクトフェア](#)
[補助金担当職員一覧](#)
[重点分野の担当職員](#)
[補助金レポートの利用方法](#)

＜オンライン申請＞

[補助金センター](#)
[補助金センターのご利用ガイド](#)
[グローバル補助金申請のテンプレート](#)
[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)
[グローバル補助金 計算表](#)

＜奨学金＞

[奨学金の提供](#)
[ロータリー平和フェローシップ](#)
[ロータリーの学友](#)
[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

＜資格認定＞

[地区の覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)](#)
[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)
[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)
[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。

2021年8月20日～9月24日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2760	名古屋中	籠橋 美久	2740	大村	石坂 和彦
2760	安城	杓名 俊裕	2760	名古屋中	國友 昌大
2750	東京銀座	福原 有一	2720	熊本城東	永田 壮一
2510	札幌北	出村 知佳子	2710	徳山	石川 良興
2520	仙台泉	菅原 裕典	2750	東京恵比寿	谷 静子
2500	富良野	松田 英郎	2740	佐賀南	駒井 英基
2710	尾道	吉原 久司	計 13 名		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

【寄付者の横顔】

世界中で実施されているロータリーの活動は、ロータリー財団への皆さまからのご寄付を通じて可能となります。「寄付者の横顔」では、強い意思を持って支援いただいた寄付者と支援の理由をご紹介します。

「石坂軍次記念基金」創設への思い

第 2740 地区 大村ロータリークラブ 石坂 和彦

過日、駒井英基パストガバナーを拙宅へご来訪頂き、今回の冠名基金(恒久基金)をご案内頂きました。

ちょうど本年10月が、父 軍次の生誕100年となります。三回忌でもあります。恩義あるパストガバナーのお話を、恩返しのもりでお受けいたしました。

98才、95才で亡くなった父と母。その追慕と感謝の念で日々過ごしております。父の名をとり、「石坂軍次記念基金」としました。この機会を与えていただき、心より感謝いたしております。

資金用途は、新たにロータリー財団の重点項目に加えられました。環境分野と指定させていただきました。環境問題は、数十年前から、『今なら間に合う!』『誰かがではなくて、あなた自身!』と叫ばれ続けております。にもかかわらず地球が破滅の道をひた走っている様相です。

世界のロータリークラブの力は、大きな力となると信じます。私自身微力ではありますが、無力ではないと信じます。引き続きできることから小さな歩み続けてまいりたいと存じます

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)

[My ROTARY 写真&動画](#)

[Rotary Video\(日本語\)](#)

[ロータリーの動画\(vimeo\)](#)

[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

10月1日	ポリオのない世界を目指す奉仕賞の推薦期間締切
10月24日	世界ポリオデー
12月5日	第50回ロータリー研究会
6日	財団地域セミナー
7～8日	メジャードナー午餐会 GETS・GNTS 他 ロータリー研究会
11～12月	ロータリー財団功労表彰状 推薦期間
1月1日～2月28日	ロータリー財団特別功労賞 推薦期間

国際ロータリー日本事務局財団室

〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28

三田国際ビル 24 階

Email: RLJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405



2016年正月 自宅玄関前での親子写真